

カテゴリ: 地域活性化

2024年11月29日
第24088号

JAL と瀬戸内ビレッジ株式会社が業務提携

～新たな地域と企業の関わり方を構築し、「関係・つながり」を創造します～

JAL は、瀬戸内ビレッジ株式会社(本社:香川県三豊市、代表取締役:古田秘馬、以下「瀬戸内ビレッジ」)と持続可能な地域活性化の実現に向けた業務提携契約を締結しました。業務提携を通じて新たな形で地域と結びつく仕組みづくりに挑戦し、地域との長期的な「関係・つながり」を創造するとともに、本取り組みで得られる学びやノウハウを応用することで、日本各地の持続的な地域活性の実現を目指します。

JAL グループは中期経営計画のローリングプランにおいて ESG 戦略を最上位の戦略として位置付け、「移動を通じた関係・つながり」を創造することで、社会的価値と経済的価値の双方を創出し、企業価値を向上させるという価値創造ストーリーを示しています。本業務提携の下、引き続き持続可能な地域活性化に貢献してまいります。



鏡のような水面が美しい父母ヶ浜



JAL グループによる関係・つながり創造の取り組み「旅アカデミー」を三豊地域で開催(2024年11月)

■ 本提携の背景

香川県三豊市は「日本のウユニ塩湖」とも称される父母ヶ浜で撮影された「天空の鏡の写真」ブームを一過性に終わらせず、官民連携したインフラ整備によって持続可能な観光につなげた取り組み(※)が評価され、総務省による「ふるさとづくり大賞」を受賞するなど地域活性において先進的取り組みがされており、瀬戸内ビレッジはその中心的役割を担ってきました。JAL はこれまでも三豊地域における取り組みに注目し、交流の機会を設けており、今般の業務提携に至りました。

(※)香川県三豊市 HP: https://www.city.mitoyo.lg.jp/hotnews_old/hot06/hot2402/12497.html

■ 本提携における具体的な協力事項

JAL と瀬戸内ビレッジは、三豊地域における地域資源の発掘と活用、地域ブランドの構築、二地域居住推進による地域経済・地域コミュニティの活性化および関係人口の拡大など持続可能な地域づくりを実現すべく、以下に取り組みます。その際、JAL は三豊地域の皆さまと協働して地域のビジネスに参入し、新たな形で地域と結びつく仕組みづくりに挑戦します。今後の取り組みにご期待ください。

【瀬戸内ビレッジ】 地域の魅力発掘並びに地域発イノベーションの推進に関する知見、技術の共有

【JAL】 三豊地域への送客に関する企画・サポート、および商品造成の検討

- 例) ・ 地域での学びから、関係・つながりを創造する旅と学びのプログラム「旅アカデミー」との連携
- ・ JAL が認証資格を持つ GSTC®(グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会)による持続可能な観光のための国際基準の導入をサポートし、インバウンド誘客等につながるサステナブルツーリズムを推進。

以上